

最高峰ベルリン・フィルの名手たちによる、スーパー・アンサンブル 首都圏では川崎公演だけのスペシャル・プログラム!

誰もが認める世界最高峰ベルリン・フィル。近年の彼らは、更にすごい。カラヤン時代からの音圧、アバド時代からの生き生きとしたアンサンブル、ラトル時代からの多様性、そして一貫して発揮されてきた超絶ヴィルトゥオージティはもちろんそのままに、キリル・ペトレンコという稀代の音楽監督に率いられる現在の彼らは、そのスーパーな能力を100%、いや120%使い、リスクを恐れずにとことんまで音楽を追求する。最高峰の名手たちが破綻寸前・ギリギリの境界線に挑戦した時にだけ実現する、究極にエモーショナルな音楽。これこそ、現代のベルリン・フィル最大の魅力である。



最高峰オーケストラのメンバーによる、今回だけの特別プログラムが実現する。ベルリン・フィルのエッセンスを凝縮したアンサンブルを聴けるだけでも垂涎ものだが、本プログラムが聴けるのは首都圏で川崎公演だけとなれば、聴き逃す手は無い。近年行われた榎本大進のリサイタルや他のベルリン・フィルメンバーによるアンサンブルを聴いても、自身たちの規格外の実力に胡坐をかかず果敢にリスクへと挑戦する姿勢が見て取れ、音楽史の更なる先へと進まんとする意欲、音楽界を牽引するという使命感が大いに感じられた。その気概、今回も大いに期待したい。

榎本大進 (第1ヴァイオリン) Daishin Kashimoto (1st Violin)

1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーでの1位ほか、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。2010年ベルリン・フィルの第1コンサートマスターに就任。2007年より赤穂国際音楽祭、2008年より姫路国際音楽祭の音楽監督を務める。

ロマーノ・トマシーニ (第2ヴァイオリン)

Romano Tommasini (2nd Violin)

イタリア人の両親のもと、ルクセンブルクとフランスで育った。パリで音楽教育を受け、1983年に修了。ナンシー管弦楽団の第1コンサートマスターを務めた後、1989年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の一員となった。

アミハイ・グロス (ヴィオラ) Amihai Grosz (Viola)

1979年イスラエル生まれ。デイヴィッド・チェン、タベア・ツィマーマン、ハイム・タウブに師事。エルサレム弦楽四重奏団の設立メンバー。2010年よりベルリン・フィル第1首席ヴィオラ奏者として入団。楽器は、ガスパーロ・ダ・サロの1570年製のヴィオラ。プライベート・コレクションより、彼に生涯を通じて貸与されている。

オラフ・マニングガー (チェロ) Olaf Maninger (Cello)

1978年からヤーノシュ・シュタルケルに師事し、85年から91年にかけては、ボリス・ペルガメンシコフに学ぶ。1995年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。96年、ソロ・チェロ奏者に昇格。97年から2002年までは、同団のメディア活動管理会社の取締役を務めた。また02年の財団法人ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の設立以降は、財団役員を務めている。現在、同団のメディア代表として活躍。映像配信サービス「デジタル・コンサートホール」の発足に貢献し、08年からは、その運営会社、ベルリン・フィル・メディアの取締役を務めている。室内楽奏者としては、「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーでもある。

エスコ・ライネ (コントラバス) Esko Laine (Contrabass)

1961年、ヘルシンキ生まれ。18歳でフィンランド国立歌劇場のメンバーとなった。1986年以来、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席コントラバス奏者を務め、ソリストとしても演奏している。

ヴェンツェル・フックス (クラリネット) Wenzel Fuchs (Clarinet)

オーストリアに生まれ、ペーター・シュミードルに師事。ウィーンで学んだ後、1993年からベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席クラリネット奏者となった珍しい経歴の持ち主。名手ライスターの後を継ぎ、類い稀な美音で世界中の奏者、聴衆から注目を浴びている。

シュテファン・シュヴァイゲルト (ファゴット)

Stefan Schweigert (Fagott)

1985年からベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席ファゴット奏者を務める。これまでにシャルーン・アンサンブル・ベルリンのメンバーとしても活動、ヨーロッパ室内管弦楽団やギドン・クレーメル主宰のロッケンハウス音楽祭への音楽祭などにも多数出演。1987年以降はベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のカラヤン・アカデミーで教鞭を執る。

東京公演のご案内



ドヴォルザーク(ウルフ＝グイド・シェファール編):

5つのバガテル(八重奏版)

フーゴ・カウン:八重奏曲 へ長調

シューベルト:八重奏曲 へ長調 D803

2026 **2月26日(木)** 19:00開演
サントリーホール

(東京メトロ溜池山王駅13番出口徒歩10分/東京メトロ六本木一丁目駅 3番出口徒歩5分)

料金:S席9,000円 A席7,500円 B席6,000円(税込)

※シニア料金、車椅子席料金についてはお問合せください。

お問合せ: **ジャパン・アーツぴあ** 0570-00-1212

主催: **ジャパン・アーツ**